

第 1 4 回懇談会における各委員からの主な指摘事項

1. 新型インフルエンザ対策関連

- 新型インフルエンザの全国的な蔓延状態についての危機意識をもたない人もおり、危機管理に関する国民的コンセンサスの形成が必要。
- 大規模地震・災害のような目に見えるものと同様に、新型インフルエンザについても、国民にいかに切実感をもってもらうかを考える必要。
- パンデミックとなったときに、風評被害やパニックを防ぐため、正しい情報を伝える必要があり、関係省庁や報道機関との間で緊密な連携が必要。
- 水際対策及び医療機関（特に空調設備）で事態に対応できるだけの資機材や設備が整っているのかの確認が必要。
- 新型インフル対策は、生物兵器テロと同質の面もあり、国民保護法との関係で対処を考える必要があるのではないか。
- どんなに準備・訓練をしても想定外の事態というのは生じる、人命救済を優先するという意識をそれぞれの責任者にもってもらうことが必要。

2. 国民保護訓練関連

- 通常の防災訓練に負荷を加えた形での国民保護訓練というのは、住民の意識としても理解しやすく、望ましい。
- N B C 訓練の場は、見せる前提として行われているが、実際は、立入区域設定が必要であり、実際にテロ等が起きたときに何が行われるのか伝えることができるような訓練にするのが課題。

以上